

学術俯瞰講義

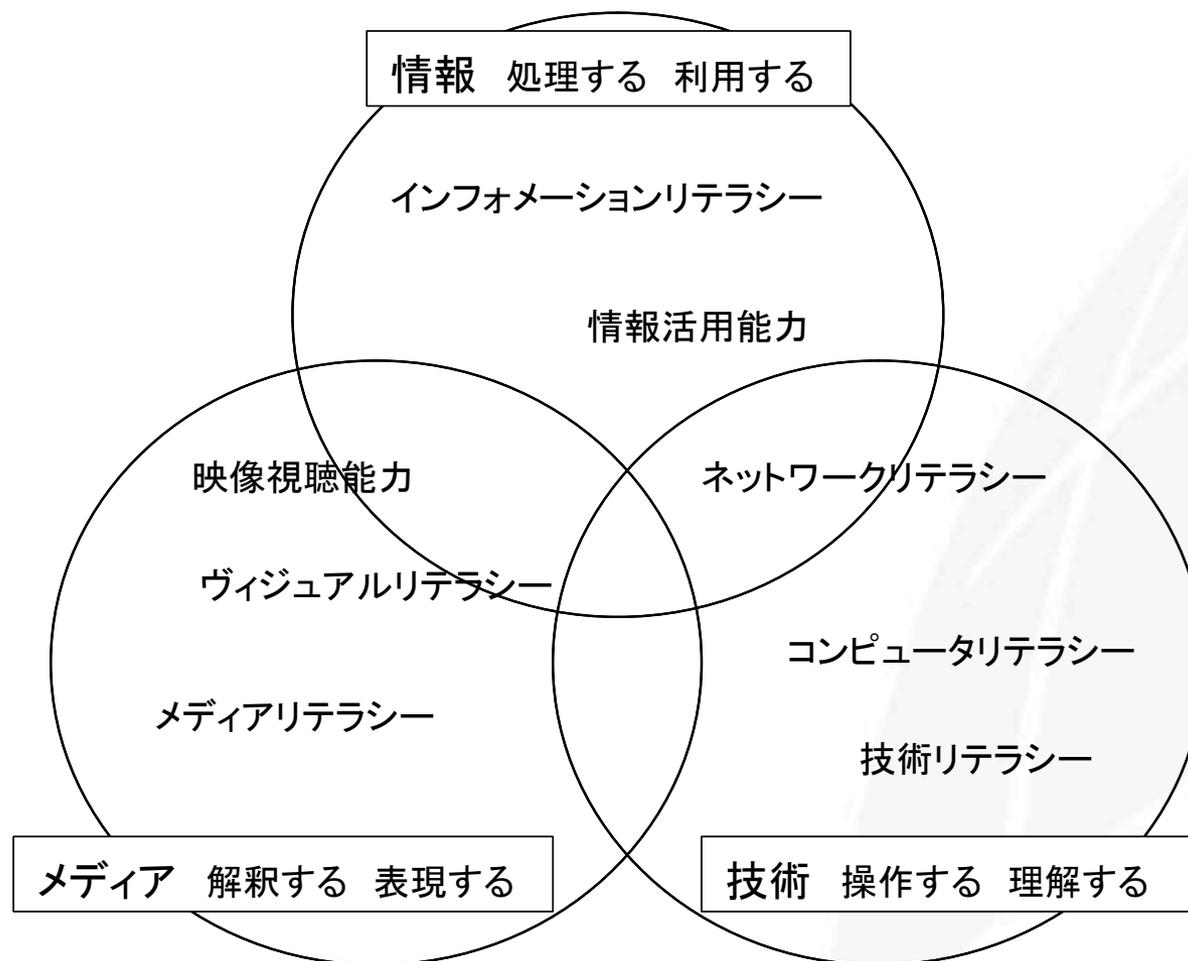
「学際情報学－情報と諸学問の融合」
情報と教育(2)

情報化社会に必要とされる能力
デジタル社会のリテラシーと
21世紀型スキル

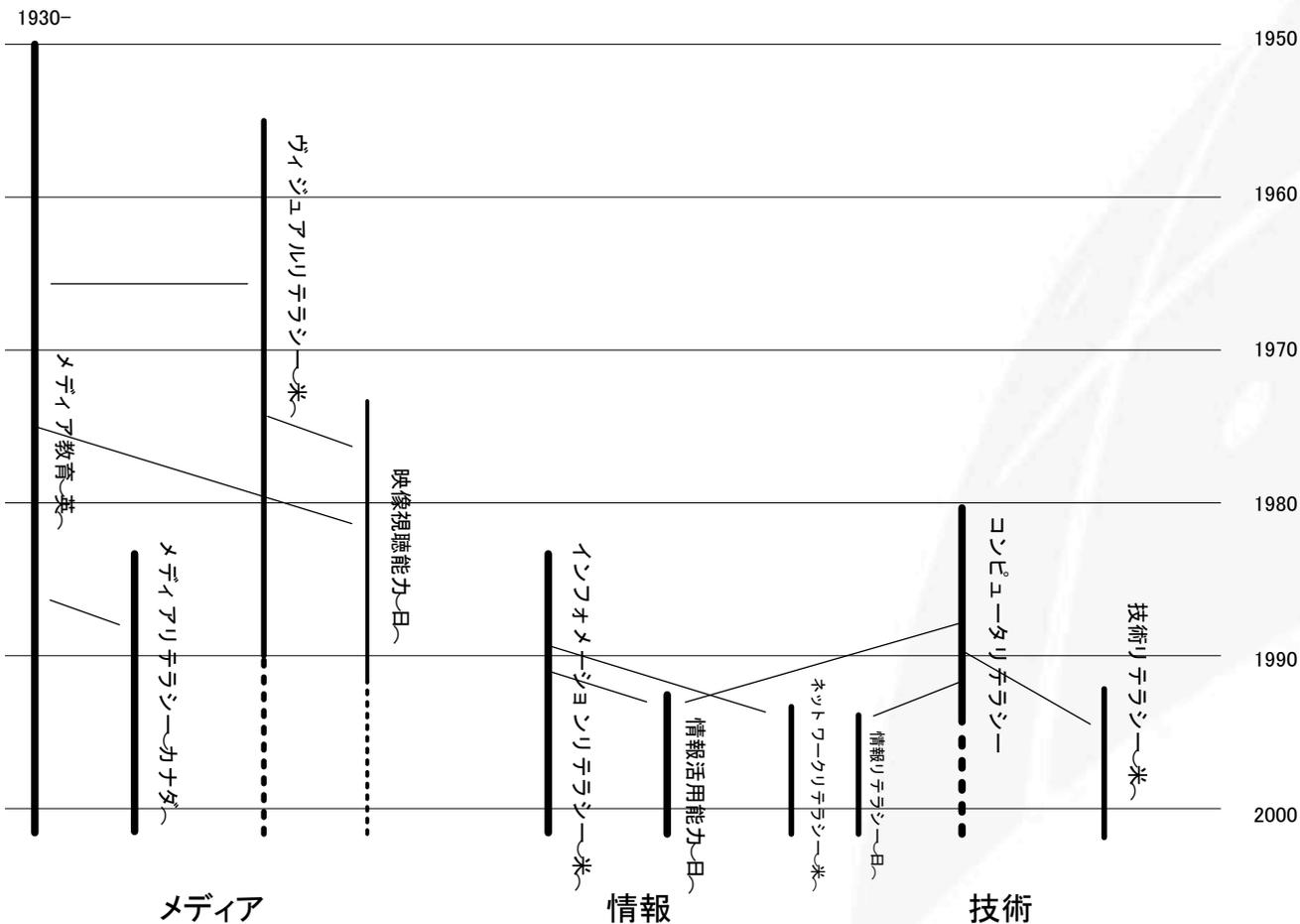
山内 祐平
東京大学 情報学環

- もともとは「文学の素養や高い教養」
- 大分水嶺理論
 - 読み書きによって論理的思考などの複雑な知的活動が可能になった。
- 近代化によって「誰もが持つべき能力」に
 - 学校教育と教授学の体系化
- リテラシーをメタファーとする様々な能力の登場

- 「人間がメディアに媒介された情報を構成されたものとして批判的に受容し，解釈すると同時に，自らの思想や意見，感じていることなどをメディアによって構成的に表現し，コミュニケーションの回路を生み出していく能力（水越，1999）」



メディアと情報のリテラシーの系譜図



- 「情報教育」
情報活用能力など、情報機器を使って問題解決をする能力を育成する。
- 「教育の情報化」
情報機器などを利用して、より付加価値の高い教育を行う。

- 情報活用の実践力

課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

- 情報の科学的理解
情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、
情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・
改善するための基礎的な理論や方法の理解

- 情報社会に参画する態度
社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

- 小学校 「総合的学習の時間」
- 中学校 「技術家庭科 情報に関する技術」
- 高等学校「情報科」
 - 情報と科学
 - 社会と情報

著作権の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しました。

平成25年度用高等学校教科書
『情報の科学』東京書籍
表紙ページ

<http://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/kou25/digi-book/jouhou/johokagaku120413/top.html>

著作権の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しました。

平成25年度用高等学校教科書
『情報の科学』東京書籍
p.6, p.7

<http://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/kou25/digi-book/jouhou/johokagaku120413/top.html>

- 情報化・国際化による雇用の流動化
 - 今年小学校に入学した子どもの65%は現在存在しない職業に就く (Davidson 2011)
- 仕事と教育の不整合
- 存在しない職業に対してどう準備するか
- どの職業にも必要とされる高度一般技能の重視

- The Partnership for 21st Century Skill (P21)
 - アメリカ政府と民間企業・団体が2002年に設立
- The Assessment and Teaching of 21st-Century Skills (ATC21S)
 - 2009-2012
 - 参加国: オーストラリア、フィンランド、シンガポール、アメリカ、コスタリカ、オランダ
 - スポンサー: シスコ、インテル、マイクロソフト

思考の方法

- (1) 創造力とイノベーション
- (2) 批判的思考力、問題解決、意思決定
- (3) 学びの学習、メタ認知
(認知プロセスに関する知識)

仕事の方法

- (4) コミュニケーション
- (5) コラボレーション (チームワーク)

仕事のツール

- (6) 情報リテラシー
- (7) 情報通信技術に関するリテラシー

社会生活

- (8) 地域と国際社会での市民性
- (9) 人生とキャリア設計
- (10) 個人と社会における責任
(文化に関する認識と対応)